

令和5年度 事業報告

長引く新型コロナウイルス感染症の影響は、外出や人との交流に対して消極的な思いを感じさせるようになりました。このことは、高齢者の虚弱化や地域のつながりの希薄化を加速する等、一人ひとりの生活に大きな爪痕を残しています。

このような中、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類に引き下げられ、感染対策を講じつつも「つながりの再構築」を目指し、相談事業における対面相談の再開及び相談員の2名配置や、介護者のつどいにおけるバス交流会の実施等、可能な限りコロナ禍以前と同様の事業を実施しました。

また、「終活」に対する取組として「終活相談会」と称した個別相談会を試行し、8月から1月までの6か月間、毎月1回開催し、合計で22件の相談に応じることができました<重点目標>。さらに、成年後見・遺言個別相談会では、司法書士による出張相談として、市内の公民館等計7か所で8回開催し、21件の相談に応じることができ、入口である終活相談会から専門相談である成年後見・遺言個別相談まで一連の流れとして相談に応じることができました。

さらに、生活困窮者への支援としては、千葉県社会福祉協議会からの受託事業で、新型コロナウイルス感染症を原因とする減収や失業等への支援である、生活福祉資金（通称「コロナ特例貸付」）の償還に関する相談や指導へも対応しました。

なお、令和5年度に実施した事業の詳細につきましては、次のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 6月6日（火）

- ・補正予算について
- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・令和5年度定時評議員会開催について

第2回 6月23日（金）

- ・会長、副会長の選定について

第3回 12月22日（金）

- ・職員給与規定の一部改正について

- ・評議員候補者の推薦について

第4回 3月15日（金）

- ・福祉資金の償還免除について
- ・理事・監事・評議員選任規程の変更について
- ・役員等賠償責任保険の加入について
- ・令和6年度事業計画案について
- ・令和6年度予算案について
- ・令和5年度第2回評議員会開催について

◎評議員会

第1回 6月22日（木） 定時評議員会

- ・補正予算について
- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度決算について
- ・理事及び幹事の選任について

第2回 3月26日（火）

- ・福祉資金の償還免除について
- ・令和6年度事業計画案について
- ・令和6年度予算案について

◎内部監査 令和5年5月22日（月）

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度会計決算

◎外部監査（千葉県社会福祉協議会）

①令和5年度福祉サービス利用援助事業現地調査 10月30日（月）

- ・事業実施体制、運営管理状況
- ・契約ケースへの対応状況
- ・財産保全サービスの状況
- ・その他留意事項

②令和５年度生活福祉資金等貸付事業に係る市町村社会福祉協議会指導監査

１２月２５日（月）

- ・生活福祉資金等貸付事業の実施・運営体制
- ・生活困窮者自立相談支援制度との連携の状況
- ・生活福祉資金等の取り扱い状況
- ・償還・生活支援業務
- ・民生委員児童委員・民生委員児童委員協議会の状況
- ・経理業務

（２）社協会費の納入状況

①一般会費 ７, ７ ２ １, ３ １ ５ 円（３ ９ 自治会・町会）

②法人会費 ５ ８ ４, ０ ０ ０ 円（５ ８ 件）

③施設・団体会費 ２ ８ ２, ５ ０ ０ 円（４ ９ 件）

合 計 ８, ５ ８ ７, ８ １ ５ 円

○自治会・町会へ福祉事業費として、１, ９ ０ ３, ０ ０ ０ 円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

（３）啓発事業

- ・ホームページによる啓発として、ボランティアセンターや市社協及び地区社協の事業実施状況等、タイムリーな情報発信に努めた。
- ・広報紙「鎌ヶ谷社協だより」を年３回発行し、内１回は紙面数を増やす等、社協事業の啓発に努めた。また、発行内容に応じ、自治会・町会による全戸配布や新聞折り込み、市内８か所の駅への設置を行う等、効果的な情報提供に努めた。

（４）市民・学校・福祉団体等への支援

- ・市内で住宅火災が発生し、６件の見舞金計６ ０, ０ ０ ０ 円を交付した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会が主催する研修会等への参加を図る等、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に助成し、その活動を支援した。（計４ ９ ０, ０ ０ ０ 円）

- ・市内全小学校及び中学校（計１４校）に福祉活動助成金として助成し、福祉教育（校内環境美化、福祉募金活動等）の支援に努めた。（一校当たり５０，０００円）
- ・障害者週間に合わせて、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンター、アクロスモール新鎌ヶ谷、ショッピングプラザ鎌ヶ谷、東部学習センター、きらり鎌ヶ谷市民会館、市役所市民ホールに、市内１６か所の障がい福祉サービス事業所のパネルを展示した。市民ホールでは手作り品の販売を行い、各事業所の活動の啓発に寄与した（販売のみの参加もあった為、合計参加団体数は１７団体）。
- ・市内中学校の制服リユース事業を実施した。（提供者１１３名４２９点、利用者２７９名４６９点）

２ 地域福祉事業

（１）地区社会福祉協議会事業の活性化

地域福祉活動の中核的組織として、地域により近い６地区社協が窓口となり、「福祉サービス案内」＜重点目標＞の充実が図れるよう地区担当職員を配置するとともに、地域福祉事業に必要な知識の習得を図った。

- ・生活支援コーディネーター養成研修（８月２９日、９月１日）
- ・声掛け体験 in イオンモール船橋２０２３（９月２１日）

◎各地区の情報共有のための連絡会議及び事務局会議等の開催

- ①地区社協連絡会議（年２回実施）
- ②地区社協連絡会研修会（７月１日実施）「サロンについての情報交換会」
- ③地区社協事務局会議（年８回実施）

◎その他資質向上のための研修会実施

- ①災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（１月１３日実施）
講義 「災害ボランティアセンターの運営等について」
講師 片岡 宗則 氏（災害救援ボランティアネットワーク会長）

◎市社協との共催事業 成年後見・遺言個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言や相続等について司法書士の協力を得て、市社協との共催にて相談会を開催した。（市内７か所・計２１件）

<参考>

○中央地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「まごころ」(5,300部)を年2回発行 ・パネル展示(地区社協の活動を紹介)
ふれあい交流	茶話会	・70歳以上の方を対象とした交流会 ラジオ体操、保健指導、「リアル野球盤」を使ったゲーム、はねっこゲーム、バグゴゲーム、健幸サポーターによる体操と脳トレ、語り部の話と落語、ハーモニカ演奏の鑑賞、マツケンサンバの踊り、コカリナ演奏の鑑賞、歌等をして交流会を行った。(年6回延べ163名参加)
在宅福祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	・地域の方を対象に行う健康長寿体操教室 インストラクター指導のもと、ストレッチ体操を行った。(年3回延べ102名参加) ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、4つの地域で各援護グループに依頼し交流会を行う。 (各グループ年2回実施、年8回延べ152名参加)
ボランティア育成	ボランティア研修会 中央地区 ふれあいのつどい	・運営委員を対象に「リアル野球盤ゲーム」体験 ・地区ふれあい員の研修会(自連協との共催) 西部地域包括支援センター矢戸所長による「認知症の理解と対応について」の講演会を行った。(47名参加)

	ボランティアバス研修	・運営委員対象のバス研修 千葉県警察本部と千葉市美術館を見学した。 (17名参加)
実行委員会	ふれあいサロン	・地域の高齢者や小さな子ども連れの親子等、「誰でも気軽にたどえる場所」を目指しサロンを第4木曜日に開催した。 小物づくりや折り紙、脳トレプリント・ぬり絵、川柳づくりを行った。(年8回延べ98名参加)
その他	中央公民館 ふれあいまつり	・4委員会で参加協力し、クラフトコーナーを開催した。(2日間延べ2,203名参加)

◎見守りパトロール(通年、4委員会で月毎に実施した。)

○中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	・「おもいやり」(5,000部)を年2回発行 ・パネル展示(地区社協の活動を紹介) ・ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に努めた。
ふれあい交流	ひょうたん祭り 地域高齢者との交流会 発電機点検	・地区社協広報啓発活動 ボランティア育成委員会青少年福祉教育活動の一環として参加 ・バス交流会(サロン翔友会参加者対象。25名参加) ・委員会等で動作確認を2回実施した。(延べ20名参加)

在宅福祉	介護予防教室（６回）	・地域の方を対象に、ウォーキング講習会・健康体操・歯科・栄養・体力測定に講義を年６回開催（年６回延べ１８７名参加）
ボランティア育成	ボランティア支援活動	・地域の特別養護老人ホームにおいて、定期的にボランティア活動「シーツ交換」中止
	青少年福祉活動①	・ひょうたん折り紙作品・工作作り教室を開催（１４８名参加）
	青少年福祉活動②	・ひとり暮らし高齢者への年賀状を出す事業 第五中学校（福祉委員） ３１名参加 初富小学校（６年生） １０１名参加 五本松小学校（６年生） ９８名参加
	五本松小ふれあい会	・２年生と高齢者との交流会（昔あそび）（１８名参加） ・１年生と高齢者との交流会（昔あそび）（１２名参加）
	初富小ふれあい会	・１年生、２年生と高齢者との交流会（昔あそび）（２９名参加）
部会活動	サロン事業（１１回） （翔友会）	・地域の方が参加出来る交流の場（年１１回延べ３５６名参加） ・バス交流会（サロン翔友会対象）（２５名参加）
その他	運営委員研修会	・運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループ、各自治会長を対象に「フードバンクを知ってもったいないを無くそう！」研修会を実施した。（６０名参加）
	脳トレプリント	・脳トレプリントを地区社協掲示板・ラック・体操教室・東武鎌ヶ谷自治会館で配布

○東部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「ふれあい」（８，３００部）を年２回発行 ・パネル展示（地区社協の活動を紹介）
地域交流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 移動児童館 東部リフレッシュ 交流バスハイキング	・東部学習センター利用団体サークル発表会、展示（来場者１，２７６名） ・東部地区老人会、談話室の発表、展示（来場者３５０名） ・道野辺小、東部小の児童を対象（年４回延べ１４７名参加） ・未就園児の子育て中の母親対象の子育て支援事業 東部地区リフレッシュ事業「バランスボール」（１２組参加） ・閉じこもりがちな高齢者を対象（３４名参加） 笠森観音堂、道の駅木更津うまぐたの里
健康福祉	ミニリハビリ 「ほのぼの会」 ふれあいサロン 「すみれ」	・地域の高齢者を対象（年８回延べ１００名参加） ・誰でも気軽に立ち寄れる交流の場（年１２回延べ３０３名参加）
育成研修	地区ふれあい員研修	・地区ふれあい員へ地域見守りのための資料配布 出席者：地区ふれあい員、自治会長、 自連協福祉委員、育成研修委員 （１０５名参加）

	福祉講座	・「つながろう！地域の底力！！」 防災カルタ、グッズ展示、グループワーク 講師：鎌ヶ谷マネジメントラボ（２２名参加）
	青少年育成	・道野辺小、東部小児童を対象 「災害時の飲み水と灯り」 ペットボトルを利用した簡易浄水器、 空き缶を使用した簡易コンロ作り 講師：まなびい大学 今関久和氏（２４名参加）

○西部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙	・「あけぼの」（３，３００部）を年２回発行
	福祉健康フェア	・パネル展示（地区社協の活動を紹介）
地域交流	炊き出し訓練	※新型コロナウイルス感染防止の為に中止
	昔遊びの会	・くぬぎ山児童センター事業に協力 こま・羽子板・けん玉等を児童と一緒にやった。 （３６名参加）
	サロン「梨の花」	・自治会館を利用してサロンを開催した。 くぬぎ山自治会館（年６回延べ１４０名参加） 北初富第５自治会館（年２回延べ３３名参加） 木刈橋公民館（年２回延べ２４名参加）
	子育て支援事業	・子育て中のママ向け「アロマでリフレッシュ」を開催した。（５３名参加）
	脳トレプリント	・くぬぎ山コミュニティセンターと北初富

		(山崎理容室)に脳トレプリント(5種類)を設置した。2週間に一度プリントを入れ替え。
在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会)	・申し込み制とし参加人数を制限しながら脳トレ、ゲーム等を実施した。(年6回延べ191名参加)
	高齢者支援教室	・栄養士による栄養指導、歯科衛生士による口腔ケア指導を実施した。 ・「エンディングノートの書き方」を開催した。(年2回延べ61名参加)
	ラジオ体操	・くぬぎ山公園を利用し、毎月第4金曜にラジオ体操を実施した。(年11回延べ316名参加)
	在宅介護者のつどい	・介護をしている方の悩みごとの話し合い。 ・フラワーアレンジメント作り。(年2回延べ27名参加)
ボランティア育成	体操講習会	・中島一郎先生による体操講習会を実施した。(年3回延べ96名参加)
	講演会	・相撲講座「相撲の話 現在と過去」朝日山親方による講演。(44名参加) ・西部小学校5～6年生を対象に「盲導犬学校キャラバン」を催した。(176名参加)
	わかば (健康作りの会)	・会員を対象として、浅沼美那子先生による体操教室を開催した。(年4回延べ127名参加)
その他	地域交流会	・生活支援体制整備事業について(43名参加)
	講演会	・第三中2年生を対象に「命の授業」を開催した。(180名参加)

○南部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報誌 福祉健康フェア	・「なんぶだより」（6,000部）を2回発行 ・パネル展示（地区社協の活動を紹介）
在宅福祉	体操教室 ウォーキング 高齢者バスハイキング 子育て支援	・地域の方を対象として、チェアヨガやストレッチ等を行い、健康増進や介護予防を目的として実施した。（年6回延べ278名参加） ・春と秋の2回開催。南部公民館周辺の散策や市川市動植物園を歩いた。（延べ45名参加） ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、道の駅しょうなんと鳥の博物館に行った。（37名参加） ・南部公民館、南児童センター、地区社協の三者共催事業。未就学児の子供と親を対象に童歌、ストレッチヨガ、リトミック等で子育て支援を実施。（年3回延べ29組参加）
事業	（災害時支援部会） 防災倉庫点検 （地域交流部会） 南部ふれあいの集い 南児童センター交流 道野辺保育園交流	・防災備品の作動確認を6月と9月の2回行った。（延べ37名参加） ・NTT東日本及び鎌ヶ谷市安全対策課の協力により、AR水害疑似体験や過去の水害時の市の取り組みについて学んだ。（80名参加） ・ありんこ春まつりでゲームコーナーのお手伝いとして協力。（2名参加） ・お煎餅焼き手伝い。（地域ボランティア2名参加） ・年長組の園児へ、委員手作りのサンタクロース人形を贈った。園児35名分制作

	南部いきいきサロン	・手芸や工作、健康体操等を行いながら交流を図った。(年10回延べ254名参加)
	公民館まつりに参加	・地区社協事務局が、運営スタッフとして協力
	グラウンド・ゴルフ大会	・第四中学校の校庭を借り、グラウンドゴルフで地域交流を行った。(69名参加)
	(なんぶ孫の手会部会) ボランティア活動 孫の手バス研修	・ゴミ出しのお手伝いを行った。(年間64回) ・佐倉市国立歴史民俗博物館見学。(33名参加)

○北部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報	地区社協広報紙	・「北部地区社協だより」(2,800部)を年2回発行
ふれあい交流	サロン事業 (サロンほ・く・ぶ) おせんべい焼き	・北部地域住民を対象に閉じこもり防止、異世代交流等で気軽に立ち寄れる憩いの場を提供 工作や折り紙、脳トレ等12回開催 (延べ147名参加) ・栗野コミュニティセンターにて、地域の子供達、父母、ふれあい交流委員との交流等 (延べ150名参加)
在宅福祉	介護予防教室 友愛訪問	・介護予防教室を3回開催 軽体操・ハーモニカ演奏・マツケンサンバや健康チェック等(延べ104名参加) ・ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯に、委員が安否確認の手紙を作成し、友愛訪問 (492名) ・困りごとアンケート調査を実施(147名)

	年賀状事業	・ひとり暮らしの高齢者の方に、小、中学生から年賀状を送った。(116枚)
健康推進	健康体操 やさしいヨガ	・地域の方を対象に、健康づくりを目的とした健康運動指導士による軽体操を11回開催した。 (延べ333名参加) ・地域の方を対象に、リフレッシュを目的としたヨガを6回開催(延べ43名参加)
その他	福祉健康フェア 北部ふれあいまつり	・パネル展示(地区社協の活動を紹介) ・地域住民との交流と情報交換 年賀状作成ブースをつくった。

(2)生活支援体制整備事業＜重点目標＞

○第1層協議体活動

令和5年度鎌ケ谷市地域包括ケア推進協議会に出席(8月24日開催)

○第2層協議体活動

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター設置業務委託事業＜実施主体：鎌ケ谷市＞)への取組として、6コミュニティエリアに配置した生活支援コーディネーターを中心に、それぞれの協議体で地域の実情に合わせた話し合いと実践を重ねた。

協議体名称	会議開催数	取組数	実施内容
中央地区第2層協議体	2回	3回	地域の課題である「地域のつながりの強化」「高齢者の虚弱化」に対応するため、昨年度に引き続き「リアル野球盤ゲーム」を実施した。ゲームの前には準備運動としてラジオ体操を全員で行い、運動量の増加を図った。ゲームは毎回盛り上がり、住民相互の交流を図ることもできた。

中央東地区 第2層協議体	6回	4回	5月26日、10月27日に東武鎌ケ谷自治会館にて健康チェックデーを開催（参加者はそれぞれ54名、46名）。骨密度測定や保健師、地域包括職員による健康相談会も併せて開催した。 11月28日に鎌ケ谷ライフタウン集会所にて健康講話を含めたイベントを開催。これまで接点が少ないエリアでイベントを開催することができた。
東部おたがいさまの会	2回	4回	小規模談話室「クローバー」を定期的に開催。東部学習センターと鎌ケ谷第二区連合自治会館で各2回、計4回開催。ボッチャやおしゃべりタイムをとおして参加者同士の交流を図った。今後も課題等を抽出しつつ、地区内に複数のクローバーの設置を目指す。（第5回～第8回まで56名参加）
西部地区第2層協議体	5回		〈くぬぎ山地区〉地域の見守りや安否確認をする「声かけ隊」活動を各自治会の協力のもと定期的に実施した（計192回）。外出機会の一助とするため、新たに「声かけベンチ」を1台設置した。 また、両活動のチラシの配布や掲示等を行い、啓発と周知に努めた。
		11回	〈北初富地区〉「身近な場所で体を動かす場が必要」との地域課題に対応するため、木刈橋自治会館で5回、北初富第5自治会館で6回の体操教室を実施した。
南部ささえあい協議体	4回	2回	南部公民館に来ることのできない方も参加できるように、出張講座を開催。また、住民の生活課題を把握するため、地域包括より事例を提供してもらい委員間で共有を図った。 5月24日、グリーンハイツ集会所にて「楽しい漢字のお話」を開催（24名参加） 2月15日、グリーンハイツ集会所にて「語り部協会による鎌ケ谷の歴史」を開催（24名参加）

たすけあい 活動あさか (北部)	5 回	4 回	7 月 2 1 日に実施した「防災講座・防災カルタ」では、大人と子ども合わせて 2 9 名の参加があり、地域間交流・世代間交流を図ることができた。また、年度の後半は北部公民館まで来ることが難しい方々のために、栗野・佐津間・軽井沢それぞれの地域で小規模活動を実施することとし、佐津間地区で計 3 回の健康体操を実施した。
------------------------	-----	-----	---

○全体研修として、1 月 1 7 日に総合福祉保健センター 6 階大会議室にて「生活支援体制整備事業に関する研修会」を開催した。

講師：菱沼 幹男 氏（日本社会事業大学 教授）

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等を実施して、ボランティア活動の推進に努めた。また、ボランティア団体への支援や市内福祉団体等からの依頼により、福祉をテーマとした講座にも協力した。さらに、総合福祉保健センターを会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(1 月 1 3 日：8 0 名参加)を実施した。

①相談・活動状況

ボランティア活動希望等に関する相談件数	1 6 6 件
ボランティア依頼等に関するニーズ件数	4 1 9 件
マッチング件数	5 4 9 件
ボランティア活動の継続・支援に関する相談等件数	2, 0 2 7 件

②登録状況

ボランティア団体（3 2 団体）	8 4 7 名	全社協ボランティア保険加入者（1 2 名）
個人ボランティア	1 6 8 名	
合 計	1, 0 1 5 名	

③事業の内容等

事 業 名	開 催 日 等	参加者
ボランティア入門講座	6 月 2 0 日 講師：枝見太郎氏	6 0 名

市民ボランティア体験	7月5日～7月28日 市民ボランティア体験(前期)	21名
	1月13日 市民ボランティア体験(災害編)	5名
	2月1日～3月30日 市民ボランティア体験(後期)	18名
夏休み福祉体験	7月27日～8月25日9コース	35名
災害ボランティア養成講座	10月11日 講師:上沢聡子氏	16名
スキルアップ講座	5月12日 講師:影山貴大氏	7名
	7月1日 講師:小出順子氏	30名
	2月6日 講師:岩谷幸治氏	71名
ボランティアフォローアップ活動	7月4日～10月31日 市民提供の折鶴で千羽鶴作成	88名

④福祉講座等協力

事業名(依頼先等)	開催日	参加者
身体障がい者福祉センター ボッチャ体験講座	8月3日	各15名
	8月10日	
	8月24日	
東部小学校5年 ①講義「福祉のおはなし」 ②アイマスク体験	① 9月20日	各99名
	② 10月20日	
南部小学校3年 手話出前講座	10月23日	29名
西部小学校5年 車いす体験	11月10日	81名

⑤講師派遣等

事業名（依頼先等）	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座 （こども支援課）	5月24日	10名
かまがや健幸サポーター講座 （高齢者支援課）	7月20日	10名
	9月21日	12名
	3月18日	10名
認知症サポーターレベルアップ講座 （高齢者支援課）	9月27日	30名

⑥他機関との情報交換

事業名（参加者等）	開催日	参加者
東葛地区ボランティアコーディネーター交流会（近隣9市）	10月25日	24名

⑦福祉用具等の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	29	個人・小学校・行政等
高齢者疑似体験セット	9	小中学校・企業・福祉施設等
ボッチャゲームセット	31	福祉施設等・地域・小学校・医療機関・行政等
綿アメ機	1	自治会

4 在宅福祉サービス事業

（1）ふれあいサービス

高齢者や障がいのある方、子育て世帯（産前産後）の方、家事にお困りの方が「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事支援・介助等のサービスを有料で提供する会員制の相互扶助（たすけあい活動）の福祉サービスを実施した。必要に応じ感染症対策や熱中症対策に配慮しながら、会員相互の安心・安全対策を講じ、可能な範囲で会員の自立に向けた支援を推進した。

○活動状況

協力会員	登録者人数	25名
	活動人数	12名
利用会員	登録者人数	55名
	・利用人数	32名
	・安心登録人数	12名
	・休止・中止人数	11名
延べ活動利用回数		535回
延べ活動利用時間数		595時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録更新・新規会員登録説明会 「コント de げき隊」「事業概要説明」	4月13日
講義「食中毒などの食品衛生上の注意」「手洗いチェック」調理実習「高齢者が夏に食べやすい食事」	7月11日
「チェア・ヨガ」「新規会員登録説明会」	9月8日
AED 講習会 2部制（午前・午後）	9月27日
講義「乳幼児の栄養と口の発達について」調理実習「家族みんなで食べられる！簡単作り置きメニュー」	11月7日
講義「高齢者の外出介助について」「介護保険の現状」実習「車椅子・杖の体験」	2月20日

延べ62名参加

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象として、日頃の介護疲れを癒すことを目的に、介護者同士の情報交換の場や市高齢者支援課の協力により健康チェックを行った。昨年に引き続き感染対策に配慮しながら開催した。開催中止の際は、「地区社協事業・心の相談事業案内」や「熱中症対策」等の情報提供を行った。

○事業の内容等

内 容	開催日
「介護体験等意見交換」	4月27日
手工芸「フラワーアレンジメント」「お話しの時間」	5月30日
バス交流会「京成バラ園」	6月19日
体操「健康体操でリラックス」「お話しの時間」	7月21日
「地区社協事業・心の相談事業案内」「熱中症対策」のチラシ等送付（※熱中症対策のため中止し、資料の送付を行う）	8月
健康講話「歯のはなし」「お話しの時間」	9月19日
調理実習「秋の味覚を楽しむ！時短メニュー」「お話しの時間」	10月3日
手工芸「フェルトで作るバラのマグネット」「お話しの時間」	11月13日
クリスマスミニコンサート「アコーディオンの調べ」「介護体験等意見交換」	12月12日
新年交流会ミニコンサート「ミュージックベルバンド」「介護体験等意見交換」	1月19日
手工芸「小物づくり～うさぎのお雛様～」「お話しの時間」	2月7日
手工芸「香りのちから アロマセラピーでリラックス」「お話しの時間」	3月7日

延べ60名参加

○地区別「在宅介護者のつどい」について

- ・ 9月14日に西部地区社協にてお悩み座談会を開催。参加者12名の近況報告等の情報交換を行った。
- ・ 11月17日に西部地区にて第2回を開催。参加者15名で講師から説明を受けながらフラワーアレンジメント作りを行った。

5 相談事業＜重点事業＞

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行したことに伴い、従来の対面による相談を再開した。

(1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）

開催日数は48日であり、民生委員児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。相談員を、1名から従来の2名体制に戻し対応した。

(2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～15:00）

開催日数は９３日であり、相談員３名で相談にあたった。相談時間を１４時から従来の１５時までに戻し対応した。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	0	1	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	1	0	1	2
4	住宅問題	4	4	0	1
5	家族問題	1 0	1 1	4 4	5 5
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	0	0	0	0
8	健康・衛生問題	1	3	1	1
9	医療問題	0	0	1	1
10	精神衛生問題	3	0	0	0
11	人権・法律問題	1	0	0	0
12	財産問題	1	0	1	1
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0
15	教育・青少年問題	0	0	0	0
16	心身障がい者（児）福祉問題	0	0	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	1	0	0	0
19	苦情問題	0	1	1	0
20	その他	1	5	2	1
	合計	2 3	2 5	5 1	6 2
	総合計	4 8		1 1 3	

<相談員研修会>

開催日：１１月２８日

内 容：講義「法テラスの業務説明・事例について」

講 師：法テラス弁護士１名、事務員１名

参加人数：心配ごと相談所相談員１６名（欠席１名）

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 491件

(1) 福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・貸付決定額 0円

○年度末貸付額 289,200円

(2) 生活福祉資金等（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障がい者世帯等の自立支援、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請(決定)額 5,643,800円（17件）

資金種類		貸付決定額	件数
総合支援資金	生活支援費	900,000	1
福祉資金	福祉費(保護世帯必需品)	80,000	1
福祉資金	福祉費（住宅改修）	1,223,500	1
福祉資金	緊急小口資金	1,080,300	12
教育支援資金	教育支援費（移管1件含む）	2,360,000	2

○生活福祉資金等の取り扱い件数

・年度末取り扱い件数171件（総合54、福祉資金（福祉費）15、教育65、緊急小口33、生活復興支援資金1、離職者支援資金3）

・免除申請承認件数1件

・令和5年4月～令和6年3月 償還率は11.9%

○コロナ特例貸付の取り扱い件数

・年度末取り扱い件数1,566件（総合863、緊急小口703）

・免除申請承認件数143件

(3) 償還を促す指導等

○借受世帯への償還指導等(延べ815件)

○「償還残高のお知らせ」等の送付(年4回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉

○督促状、請求書等の送付及び法的措置の依頼((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

7 地域福祉権利擁護事業（受託事業〈実施主体：（福）千葉県社会福祉協議会〉）

（１）日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用手続きや、日常生活における金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。また、地区社協や民生委員児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問 調査延べ回数
高齢者	10	266
知的障がい者	1	58
精神障がい者	3	50
上記以外	2	20
合 計	16	394

②利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	4
知的障がい者	2
精神障がい者	1
その他	1
合 計	8

＊内、新規契約3件、解約5件

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者人数	6
活動人数	3
合 計	9

④生活支援員養成研修会（オンライン）

千葉県後見支援センター主催の研修会に生活支援員6名参加。

基調講演「判断能力とはどのようなものか～精神医学の立場から～」

実践発表「高齢者のケース」「精神障害者のケース」

情報交換

⑤関係機関連絡会

市内関係機関連絡会を令和6年3月6日に総合福祉保健センターを会場に開催した。保健福祉部及び基幹相談センターにおける権利擁護に関する取組についての発表、意見交換等を行った。

(2) 成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言相続個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言、相続について司法書士の協力を得て、6地区社協との共催にて相談会を開催した。(市内7か所・21件)

期 日	会 場	相談件数	相談内容
10月20日	くぬぎ山コミュニティセンター保育室	3	①遺言について ②成年後見について ③相続について
10月27日	北部公民館視聴覚室	2	①遺言について ②相続について ③死後の事務
10月31日	南部公民館学習室1	1	①遺言について
11月7日	きらり鎌ヶ谷市民会館学習室6	2	①遺言について ②成年後見について ③金銭の管理・処分 ④介護保険
11月9日	総合福祉保健センター団体活動室	4	①成年後見について ②財産管理契約等 ③不動産の管理・処分 ④親なきあと問題
11月15日	東初富公民館集会室	3	①遺言について ②成年後見について ③財産管理契約等 ④介護保険
11月24日	総合福祉保健センター団体活動室	3	①生前贈与、遺言について ②任意後見について

			③親なきあと問題
12月5日	東部学習センター学習室1	3	①遺言について ②成年後見について ③家族信託

8 善意銀行

○寄付金総額 957,368円(41件)

金銭の払出し (円)

払 出 先	金 額	備 考
ボランティア・福祉団体等	96,197	目的別寄付
地区社協	958,880	地区社協活動助成金
要援助者支援	60,526	災害見舞金、帰宅旅費、生活困窮者への食糧支援
その他	150,180	レクリエーション用具、バナースクリーン
合 計	1,265,783	

○寄付物品 (なし)

9 受託事業（実施主体：鎌ヶ谷市）

（1）福祉作業所友和園（指定管理者制度）＜重点目標＞

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める支援を感染予防対策を講じながら行った。利用人数及び定員は就労継続支援B型16名（定員20名）、生活介護9名（定員10名）であった。

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容の1つである、自然災害及び感染症のBCP（事業継続計画）を作成した。同じく、感染症等の予防及びまん延の防止のための指針を策定した。

生活支援の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的生活習慣が身に付くように、月例行事など様々な機会をとおして、具体的な支援を行った。

特に就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための支援を行い、作業の面では、コンタクトレンズ用品の袋入れ、タオル袋入れ、かぶの

袋入れ、釣り具研磨作業等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、花壇の手入れ、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り市役所販売等外部での販売が出来た。その中で、千葉日報社より「NTT児童画コンクール参加賞」として紙すきのノート3,320冊の注文を受け製作にあたった。工賃収入として、2,553,158円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を年2回、個別支援計画の確認のため、個別面談を年2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を年4回発行した。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用40回〉団体活動室〈年間利用364回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

※大会議室については、令和5年11月まで新型コロナウイルスワクチン接種会場となっており、12月から一般貸出が可能となった。

※また、大会議室は令和6年2月13日から3月15日まで確定申告会場となっており、確定申告分は年間利用回数に含まれていない。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金

(円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	41自治会・町会	4,342,092
学校募金	市内小、中学校、高等学校	130,328
法人募金	商店、会社等205件	680,403
その他募金	職域、個人、団体等	207,498
合 計		5,360,321

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金

○収入

(円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	40 自治会・町会	2,699,939
その他募金	法人、個人、団体等	248,813
合 計		2,948,752

○配分

(円)

事業名	内容	金 額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	859,000
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食料等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	405,985
福祉ニーズへの支援事業	社協啓発活動・こどもの学習支援	232,300
社会福祉施設助成金事業	高齢者・障がい者・児童福祉施設・小規模作業所へ助成	720,000
福祉関係団体助成金事業	当事者団体、こども食堂等へ助成	200,000
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在宅福祉活動等	505,891
合 計		2,923,176

(3) 義援金の受付・送金

○能登半島地震

- ・石川県共同募金会へ計78,501円の義援金をお預かりし、送金した。
- ・千葉県共同募金会へ計141,596円の義援金をお預かりし、送金した。

(4) 災害見舞金の支給

- ・6件の災害見舞金として計50,000円を支給した。

令和５年度 事業報告の附属明細書

令和５年度事業報告には、社会福祉法第４５条の２第２項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和６年５月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会